

令和 8 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	72	木曾青峰 高等学校	定 課程	普通 科
----------	----	--------------	------	------

学校教育目標	
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会をreデザインする人を育てる。(reデザイン：繰り返し描き実現して行く)	
重点目標	
①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ②生徒一人一人の発達段階に合わせた進路希望をサーチし、自己肯定力を持ち主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。	

道徳教育の重点目標	
1 本校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力と適正な判断力を身に付ける。 2 他者と協働する活動を通して、集団の一員としての役割を担い、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 3 自者他者の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方、生き方、個性を尊重する高い道徳観を育成する。 4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	学習活動や日常生活の振り返りの中で自己理解を深めることに努める。 ○生活体験発表会 ○ソーシャル・スキル・トレーニング	ホームルーム内で、他者と良好な人間関係を構築する。 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	自律的な行動に努め、集団での活動に積極的に参加する態度を身に付ける。 ○生徒会の諸行事 ○委員会活動 ○文化祭	国語	言語活動を通して、思考を深め、他者との関わりの中でコミュニケーション力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
2年	よりよい社会の創造に係る一員として、自己の在り方を考え、他者を尊重し、協働して行動する態度を身に付ける。	広く社会に目を向けると共に、自己理解をもとに、自己の在り方について考えを深める。 ○生活体験発表会 ○各種職業体験活動	他者の存在を尊重し、より良い学習集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○人権学習（多様な価値観や文化との共生）	校内組織において自己の役割を果たし、他者を尊重して行動する態度を身に付ける。 ○生徒会の諸行事 ○委員会活動 ○文化祭	地理歴史	多様な文化や歴史を知り、他者を尊重する重要性を育むとともに自己理解も深め、一人ひとりの違いを思いやれる態度を育む。
3年	人間としての在り方や生き方についての理解を深めること、学校内外の活動に主体的に参加する態度を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに主体的に取り組む。 ○生活体験発表会 ○就業体験活動	地域や社会に目を向け、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に理解していく態度を養う。 ○地域学習 ○平和学習（修学旅行事前学習）	校内組織における中心的な存在として、目標の実現に向けて、主体的に行動する態度を身に付ける。 ○文化祭 ○生徒会の運営	公民	現在社会で起きている様々な問題を理解し、これからの社会を担う一員として、主体的に社会に貢献できる資質を養う。
4年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に向けた高い道徳観と意欲的に実践する態度を養う。	よりよい社会を構成する一人として、互いを尊重し、自己の進路希望実現に向けて共に学び合う態度を養う。 ○生活体験発表会 ○進路探究 ○課題探究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○進路選択 ○人権学習（社会生活における権利と責任）	社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	数学	数学的活動を通して、数学的な捉え方・論理的な思考力を養い、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える姿勢など、創造性の基礎を養う。
					理科	身近な自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	競技や学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心、相手や共に活動する仲間へ敬意を持ち、他者や個性を尊重する態度を養う。
					芸術	芸術作品に触れながら創作していく中で、情を感じ取る感受性を養い、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報社会を生きる上での正しい判断力を身につけさせ、より良い情報社会の創出を目指す実践力を育て、情報モラルを身に付けさせる。
					総合的な探究の時間	知的好奇心を高め、主体的・協働的な探究活動を通して、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内外の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	---